

## 平成29年度市川市総合防災訓練（案）について

### 1. 目的

総合防災訓練は、災害対策基本法及び市川市地域防災計画、その他の各種マニュアルに基づき、震災時における市、各防災関係機関及び団体、協定事業者等との連携強化を図るための実践的な訓練を実施するとともに、市民・学校関係者・市職員等が、震災時の初動対応である防災拠点運営や避難所運営、人命救助方法を学ぶ住民参加型訓練を実施することにより、「自助」・「共助」・「公助」の連携強化を図ることを目的に実施する。

### 2. 訓練想定

千葉県北西部を震源域とするマグニチュード7.3の直下型地震が発生し、市川市では震度6強が観測され、市内全域で甚大な被害が発生した。

大地震の発生に伴い、市内全域で建物の倒壊や道路の損壊が発生したほか、土砂災害、火災、多数の帰宅困難者が発生し、死傷者が多数出ている。

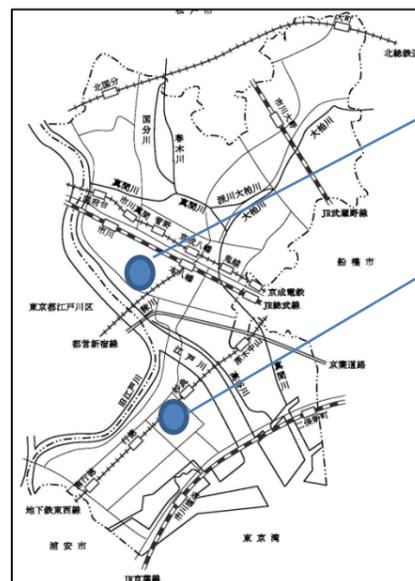
また、主要交通機関やガス、水道、通信等のライフライン機能が一部麻痺しており、復旧の目途も立っていない。

### 3. 日時

平成29年8月27日（日）

- 大洲会場 9時から11時
- 行徳会場 10時から12時
- 市内小学校 11時から15時

### 4. 会場



- ①大洲会場  
大洲防災公園（市川市大洲1丁目18番）
- ②行徳会場  
行徳駅前公園（市川市湊新田2丁目4番）
- ③市内38小学校、義務教育学校1校

### 5. 主な訓練内容

#### (1) 会場訓練

[大洲会場] 大洲防災公園

- 救助救出訓練、初期消火訓練
- 住民参加訓練（応急救護、資機材取扱、煙中脱出）
- 特殊車両展示
- 自衛隊訓練
- 炊き出し訓練
- 展示・啓発（関係機関、協定事業者など）

[行徳会場] 行徳駅前公園

- 救助救出訓練、初期消火訓練
- 住民参加訓練（応急救護、資機材取扱、煙中脱出）
- 特殊車両展示
- 炊き出し訓練
- ペット同行避難体験コーナー
- 要配慮者疑似体験訓練
- 医療救護所の設置
- 仮設トイレ設置（協定事業者）
- 展示・啓発（関係機関、協定事業者など）

液状化、外国人対応の地域特性を考慮した訓練を実施する。

#### (2) 防災拠点訓練

災害時の防災拠点となる市立小学校38校及び義務教育学校1校において、初動配備職員である市職員が、拠点の開設、被害情報の収集、本部との通信訓練などを行う。

#### (3) 避難所開設運営訓練

市内10校の体育館を使用して、地域住民が中心となり、避難所を開設し、避難者受付や居住スペースづくり、避難者への情報伝達などの訓練を行う。

#### (4) 災害対応事務局訓練

各訓練と連携した通信訓練を行う。

#### (5) その他訓練

- 帰宅困難者対策通信訓練
- 災害ボランティアセンター開設訓練
- 消防団警備本部等運用訓練
- 医療本部通信訓練

災害対策本部との情報収集・伝達訓練を行う。